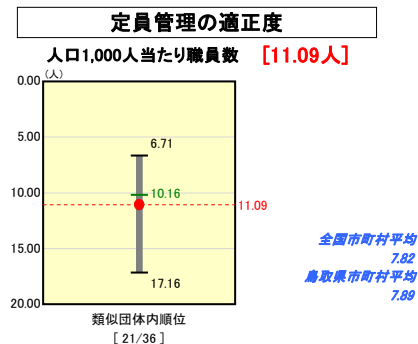
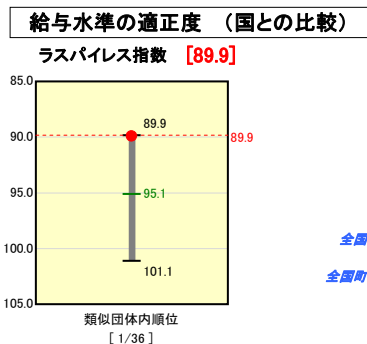
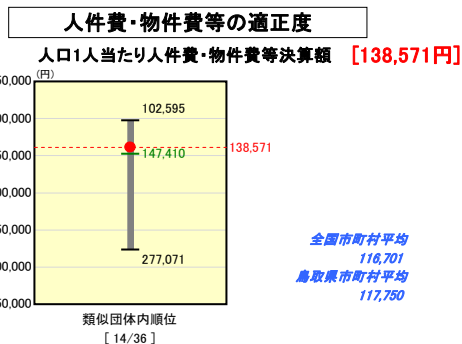
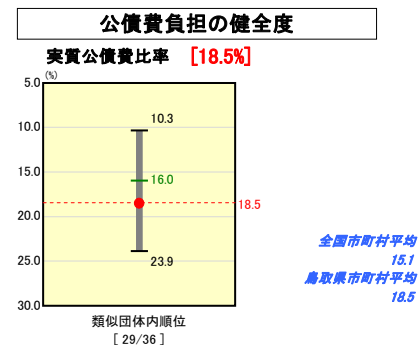
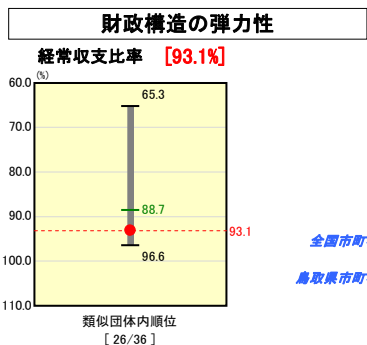
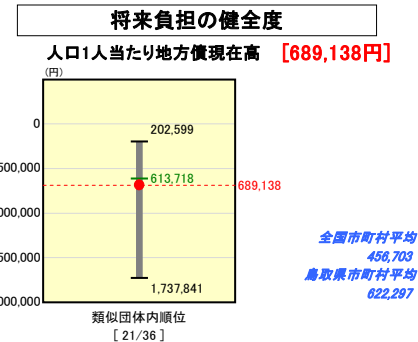
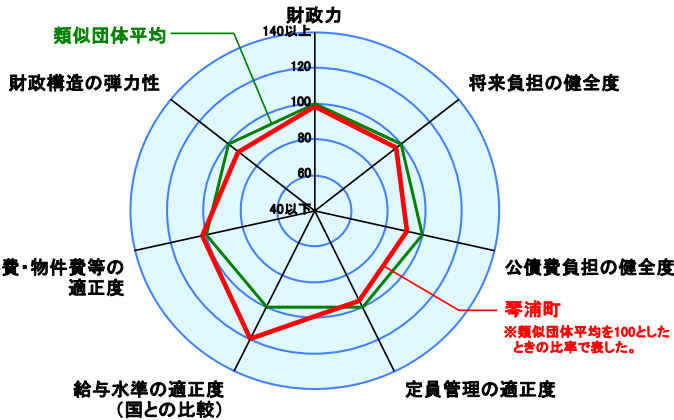
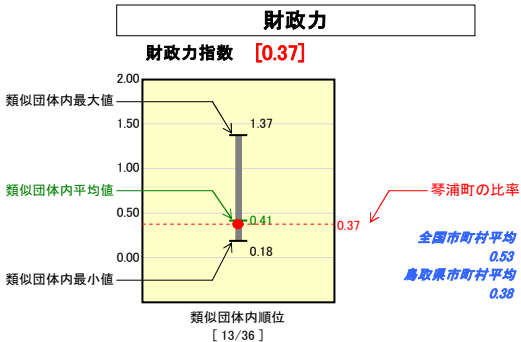


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

鳥取県 琴浦町

人口	19,930	人(H19.3.31現在)
面積	139.90	km ²
歳入総額	11,438,051	千円
歳出総額	11,245,251	千円
実質収支	139,787	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

「財政力指数」
この指標は、11に近い団体ほど財源に余裕があると言われるもので、本町については、昨年度と比較して0.01ポイント上昇。類似団体内順位は36団体の内13位、平均値0.41と比較して0.04ポイント低く、県下の市町村平均値よりも0.01ポイント下回っている。

「経常収支比率」
以前においては、この指数は町村にあっては70%程度が妥当であると経験的に言われており、75%を超えると弾力性が少なくなり硬直した財政内容を表すものと言われていました。しかし、近年の財政構造改革による普通交付税の減収や景気停滞の影響による地方税の減収等、全国的な状況としては、平均値が90.3%となりました。本町においては、昨年度と比較して1.7ポイントの減となり、やや数値的には改善できました。

「給与水準の適正度」
ラスパイレース指数とは、国家公務員との給与を比較する場合に使う統計上の指数で、100が国家公務員と同額の給与となるものです。100から数値が低くなればなるだけ給与水準の適正度が進んでいると言われるもので、本町では、平成18年度の給与カット2%、早期退職等を反映し、適正度が類似団体内1位、全国町村平均の4ポイントも適正度が進んでいます。

「将来負担の健全度」
人口1人当たり地方債現在高は、対前年度38,134円の増ですが、これは対前年度の分母である人口が235人減となったことと、勤保保育園建設244,700千円、町営住宅建設157,300千円の起債増によるものです。平成18年度普通会計の地方債残高は、13,734,524千円で昨年度より607,037千円増となっています。